

4.12 市民アクション 「戦争反対!」「9条守ろう!」の声 広げよう!

「守ろう 平和!」

民報

おうしゅう

読者版



発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



4月12日、国民大運動・胆江地区実行委員会が呼びかけた「戦争はイヤ!市民アクション」には、各団体や個人など約50人が参加しました。この日は、天気も良く桜の名所である水沢公園が絶好のお花見日和となりました。Zプラザ・アテルイ駐車場は、お花見客で朝から満車状態です。そのため、今回



の市民アクションは、大きなアピールとなりました。水沢原水協の小原隆穂会長などがマイクを握り、「アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃は、国連憲章と国際法に違反する暴挙」「無法なイラン攻撃反対の声を広げよう!」と、呼びかけました。最後に、新日本婦人の会の菅原栄美会長のリードで、参加者全員で元気にシュプレヒコールを行いました。

2月定例会での今野裕文議員(日本共産党)の一般質問の概要を紹介します。

奥州市議会2月定例会続報

年金で入れる

特別養護老人ホームの整備について

整備について

今野裕文議員は、特別養護老人ホームの整備の問題を改めて取り上げ、整備の状況について質しました。年金で入れる施設の整備の点では、ショートステイから16床の転換では不十分だとして、検討状況を質しました。

ユニット型でも、

高齢年金で入れる

倉成淳市長(質問時、以下同じ)は、整備予定は231床、令和7年度事業で、水沢・江刺各60床規模でユニット型の整備を始めていることを明らかにしました。

老齢基礎年金の額が6万9千円程度なので、「必ずしもユニット型への入所が不可能ということではございません」と述べるにとど

まりました。担当者は、「高齢者の尊厳を重視して個室の整備が奨励される国の方針のあるなか、著しく多床室が少ない状況にはないと考えています」と答えました。

改めて、兼業農家への

支援策を求める

今野裕文議員は、認定農業者とされない農業後継者の確保策も検討すべきだとして、市長の見解を質しました。

物価高騰対策として

機械購入費を支援する

倉成淳市長は、「国の支援対象にならない農業者も、地域農業の存続には必要不可欠」だとして、「その支援のありかたを検討しています」と回答しました。

そして、物価高騰等の対策で、営農継続に向け、兼業農家の機械購入費を支援する制度を、新年度(令和8年度)追加補正予算に盛り込むことを明らかにしました。

定例会最終日に、兼業農家等機械導入支援事業補助金(5千万円)を含む補正予算が可決されました。



今野裕文議員